

授業科目	国際栄養論				単位	2				
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	NT21903J			
開講年次	4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-2					
担当教員	坂巻 路可									
授業概要	<p>21世紀に入り、我が国は国際社会の一員として、ますますその貢献度が期待されている。このことは、単に受け身としてではなく、日本が将来国際社会の中で生存位置を確保してゆくためにも重要なことである。</p> <p>特に、食糧供給や栄養供給の問題は単に南北問題のみならず、食糧自給がままならない我が国にとっては、自国の存亡とも関わることである。</p> <p>本講では、国際的視野に立つことの重要性を学び、国際的視点に立って食糧の供給と栄養政策面や健康と栄養、あるいは食文化や食生活の面から自国と他国との比較や世界における自国の位置を知ることにより、より深く「日本」を理解し、他国の食政策や食文化を理解し、国際協力活動への理解を深めたい。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際栄養学の視点、すなわち食糧・栄養・健康の問題をどう捉えるか、また、なぜそのような視点が大事なのか説明できる。</li> <li>2. 国民の健康度や疾病の状況は各国によって異なり、それらは各国の食糧供給や栄養状態、あるいは栄養政策に大きく依存していることを説明できる。</li> <li>3. 国際栄養活動の基本のあり方について、説明できる。</li> </ol>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	10	40	30	0	20	100			
知識・理解 (DP1-1)		5	20	10		5	40			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)		5	15	15		10	45			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)			5	5		5	15			
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
標準的なレベル1～3を全て達成したうえで、知識に関してはより詳細に説明できる。さらに修得した知識を応用し、国際栄養学的視点に立って、食糧の供給や栄養政策について問題点を捉え、問題改善への取り組みを探求できる。					<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際栄養学の視点、すなわち食糧・栄養・健康の問題をどう捉えるか、また、なぜそのような視点が大事なのか説明できる。</li> <li>2. 国民の健康度や疾病の状況は各国によって異なり、それらは各国の食糧供給や栄養状態、あるいは栄養政策に大きく依存していることを説明できる。</li> <li>3. 国際栄養活動の基本のあり方について、説明できる。</li> </ol>					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)		

1	テーマ:健康状態の変化 我が国の健康状態の推移と現状について概説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
2	テーマ:保健医療分野の国際協力 国際機関の取組について解説する。	講義	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
3	テーマ:食糧生産と供給の国際的状況 食糧自給と人口問題について解説する。	講義及びテーマについて調べまとめる。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
4	テーマ:栄養転換 栄養転換について解説する。	講義及びグループディスカッションを行う。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
5	テーマ:栄養状態の国際比較 諸外国の健康、栄養問題について解説する。	講義及びグループディスカッションを行う。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
6	テーマ:諸外国の管理栄養士・栄養士養成 各国の栄養士養成の違いについて解説する。	講義及び各自テーマについて調べ発表の準備をする。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
7	テーマ:栄養政策の現状 各国の食生活指針について解説する。	講義及び発表。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	60 30
8	テーマ:各国の栄養ケアマネジメント(周術期) 各国の栄養ケアマネジメントについて視聴覚教材を用い解説する。	講義及び小テストを実施する。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
9	テーマ:栄養分野の国際協力活動(1) 栄養分野における国際協力活動について解説する。	講義及び次週のテーマについて情報収集を行う。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
10	テーマ:栄養分野の国際協力活動(2) JICA 九州で体験学習を行う	体験学習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	60 30
11	テーマ:栄養分野の国際協力活動(3) JICA 九州で体験学習のまとめを行う	体験学習の発表を行う。	これまでの講義内容を整理し、まとめる。	60 30
12	テーマ:食文化の国際比較(1) アジアの食文化と栄養問題について解説する。	講義及びテーマについて調べまとめる。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	60 30
13	テーマ:食文化の国際比較(2) ヨーロッパの食文化と栄養問題について解説する	講義及びテーマについて調べまとめる。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	30 30
14	テーマ:食文化の国際比較(3) アメリカの食文化と栄養問題について解説する	講義及び小テストを実施する。	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:該当部分の復習を行う。	60 30
15	テーマ:国際的視点から見た日本の食と栄養の問題点 これまでのまとめと報告会を行う。	まとめと発表を行う	復習:これまでの講義内容を整理し、まとめる。	60 30
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	国際栄養学の視点に立った、自国や他国の食政策や食文化に関する知識を必要とする。			
テキスト	公衆栄養学 2019年版 日本栄養改善学会【監修】伊達 ちぐさ/酒井 徹【編】(医歯薬出版株式会社), 2800円			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	国際保健医療学(第3版) 日本国際保健医療学会編 (杏林書院) 必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から、新聞や雑誌に目を通し、国際的な視点で物事を見る目を養う努力をして下さい。 また、図書館で講義テーマに関連する図書に目を通して下さい。			
達成度評価に関するコメント	レポート及び発表の内容、小テストについては、授業の中で指示する。 レポート及びプレゼンテーションの内容、小テスト、その他(参加意欲、受講態度)で評価します。			